

## 第6回経済地理学会著作賞選考結果

候補者名 : 水野 真彦

受賞著作 : 『イノベーションの経済空間』(京都大学学術出版会, 2011年, 214ページ)

受賞理由 :

世界の経済空間が、1980年代以降のグローバリゼーションと消費・生産様式の変化の中でグローバル、トランスナショナル、ナショナル、リージョナルそれぞれの空間スケールで変化を遂げつつある。そのなかで海外の経済地理学では1990年代から産業集積とイノベーションの関係性、および社会資本を含めたネットワークの構築に着目した研究が新しい潮流となって現れてきた。本書は、そうした研究蓄積を丹念に紐解き、新しく提起された概念・学説を的確に紹介するとともに、それらの成果を批判的に摂取し、知識の創造、技術的イノベーションの創出におけるアクター間の関係に作用する地理的・文化的・制度的近接性および場所の重要性を改めて提示した。

こうしたイノベーション創出のプロセス、要件、場所的差異に関する理論的考察に続いて、イノベーションと地理的近接性の関係を定量的に検証し、地理的近接性の作用の存在を実証した。特に、自動車産業における組立てメーカーと部品サプライヤーとの共同開発における近接性の必要性に着目し、企業関係および立地を類型化した点は工業立地の説明に新しい観点を導くものであった。加えて、特許データを活用して、外部の研究開発機関、研究者の分布から、企業の共同開発においても地理的近接性が作用していることを定量的に実証した点が注目される。

以上のように、本書の成果はグローバリゼーションが進んだ現代の先進国の産業集積を説明する上で欠かせないイノベーション創出に係るプロセス・要件を分析する経済地理学的観点を提示したものとして高く評価できる。なお、本書に収録された論文はすでに幅広く引用されていることも付言しておきたい。

以上の理由から、経済地理学会賞選考委員会は、上記著作が選考対象著作のなかで最もすぐれたものであると判断し、推薦する。

2013年4月13日

経済地理学会賞選考委員会 :

日野正輝(委員長), 川久保篤志, 高橋 誠,  
箸本健二, 柳井雅人, 近藤章夫